

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(湖東中) 学校運営協議会長

<本年度の目標>

今日的にもとめられる道德教育の追求

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・教育は意図的・計画的に行うものであり、中長期的な視野に立ち、何を意図した取り組みなのかを全職員が共に考え実践し、成果や教訓を共有し合う方針であることが承認された。目指す生徒像では「生徒一人一人の居場所と出番づくりを通して、社会的・職業的自立にむけて、チーム湖東で育成していくなど強い決意が確認された
- ・いじめ問題に関しては、初期対応へのスピード感と丁寧な対応やいじめの背景でもあるSNSトラブルの高度化への対策も共有できた。
- ・限られた時間のなかで委員が積極的に話し合うことができた。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・先生方の働き改革に端を発した「休日部活動の地域移行」については、積極的に熟議事項として取り入れ、浜松市の取り組みの現状を報告するなど、地域での受け皿が大きな課題であることを共有した。なお、不安を抱いている「小学生や保護者」の皆様へは引き続き「平日の部活動はなくなる」と情報を発信していく必要性を感じた。
- ・地域で活動している「スポーツ・文化」と部活動の地域移行を考える会を開催できた。
- ・地域ふれあい講座の充実化について確認できた。
- ・いじめについては、家庭と学校との情報根幹が予防・解決に必要だと確認できた。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・協議議事録はHPを介した公開しているものの、地域や保護者への情報発信としては反省点がある。
- ・部活動の地域移行に関して、地域で活動している「スポーツ・文化団体」と「地位意向を考える会」と称して、現状や課題について情報を共有し合うことができた。
- ・地域の集まりなどで発信はできているが、効果があったのか反省点はある。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- ・学校教育目標は「意欲をもって挑戦し自己表現できる生徒」を継続的に掲げ、令和6年度学校評価を踏まえ、特にPDCAのC(評価)を掘り下げ、成果や課題が見える化し、学校全体のものとする。
- ・今日的道德教育の追求として、SNSとの向き合い方やいじめや不登校対策として、和地小、伊佐見小学校運営協議会との連携を深める。
- ・学校運営協議会の存在を、地域や保護者に知ってもらうようにする。PTAの役員、コミュニティ協議会の傍聴があってもよい。
- ・子ども中心に考えて、保護者、地域、皆を巻き込んでいき、協力者を増やしていきたい。
- ・コミュニケーションの深化を図る(協議会委員と生徒や教師など)